

特定非営利活動法人 エキスパート児童福祉支援協会

# 未来のつばさ

## INDEX

- P.2 事務局だより  
御協力に感謝!!  
エキスパートアライアンス社と  
アイリオ生命の皆さまによるボランティア活動
- P.3 リレーメッセージ  
卒園した先輩から後輩へ  
後輩が希望を持てるような生き方をしたい
- P.4 特集 未来へはばたく子ども達
- P.6 紹介ひろば  
児童養護施設 アメニティホーム 広畑学園
- P.7 入会・寄付のご案内  
支援者からの声
- P.8 2011年度 育英奨学支援資金 募集要項  
申請受付から選考、支援完了までのプロセス



Vol.13  
2011.12

# ご協力に感謝!!

## エキスパートアライアンス社とアイリオ生命の皆さまによるボランティア活動



活動の発起人  
石丸 雅男 理事  
米林 慶子 理事

昨年度の選考委員を務めた当協会の石山雅男理事、米林慶子理事が、「書き損じ・未使用はがきを集めて、児童養護施設の子どもに奨学金を贈ろう」という企画を立案され、お二人が代理店として活動をされているエキスパートアライアンス株式会社、アイリオ生命保険株式会社の代理店に呼びかけ、全国規模で代理店による寄付集めのボランティア活動が行われています。

昨年度は147名の子ども達に育英奨学・自立支援資金を提供することができたものの、応募が409名もあり、支援対象とならなかった子どもが多数でいる現状に、両理事が、「支援枠を少しでも広げたい」と、この活動を企画してくれました。

郵便局での交換手数料を差引いて約3400枚はがきを集めれば子どもが1人支援できることから、今年度の支援に間に合うようにと、11月～1月の3カ月と期限を決めて、全国各地に点在される両社代理店からそれぞれのお客様やお友達にも声をかけてくださっています。既に、「11月中旬で1900枚が集まった!」とご連絡がありました。最終結果は、当協会のホームページ等でもご報告させていただきます。

エキスパートアライアンス様とアイリオ生命様は、ともに社会貢献活動に熱心に取り組まれ、両社の代理店・社員の皆さまは、それぞれの報酬から毎月寄付をされており、当協会も設立時より、多額のご寄付を頂戴しています。

たくさんの子ども達の夢をかなえようというお気持ちと、ご活動に心より感謝申し上げます。これを機に協会でも書き損じはがき、未使用はがきでの寄付を承ることにいたしました。本誌をお読みいただいた皆さまもご協力いただきますよう、お願いいたします。



# 卒園した先輩から後輩へ



エキスパート児童福祉支援協会の支援を受け、社会人として成長している先輩から、今まさに施設を巣立ってこうとする子ども達へのリレーメッセージ。第2回目は、児童養護施設 子持山学園の卒園生から在園生の皆さんへのメッセージをお届けします。

## 先輩から 後輩が希望を持てるような生き方をしたい

■ 子持山学園 (2008年卒) 技術職

幼い頃は、嫌なことや上手くいかないことがある度、育った環境のせいにしていました。親のいない自分は不幸で、友達より大きなハンデがあるように思っていたのです。実際は友達にも悩みがあり、人によっては借金や両親の不仲など深刻な事態だってあったのです。お金の無い不安も空腹の辛さも知らずに、高校まで通い社

会に出してもらえたことを今はとても幸せだったと思います。恩返しなど大それたことはできませんが、施設の先輩として、後輩が将来に希望を持てるような生き方をしたいと思い、現在は頑張っています。在園生の皆さん、どうか足りない事に嘆かず、今ある生活を楽しんでください。

## 後輩から 希望を失っていた私に手を差し伸べてくれた

■ 子持山学園 高1

私は、嫌なことは「嫌」、好きなことは「好」と真っ2つにしてしまい、嫌なことは絶対にやらない、好きなことは何でもやると昔はやっていました。そのせいで、学校での交友関係、上下関係が上手くいかず、不登校になり、悪い友達と一緒にいるようになり、私は希望を失っていました。しかし、そんな私に手を差し伸べてくれたのが子持山学園でした。それから私は、昔の私では

無理だと言われていた高校にも入学することができました。それを機に人と明るく接するようになったら、交友関係も上手くいき、昔では考えられないほど、充実した人生を送っています。私は、今の生活を物足りないなんて、とても思えません。むしろ、足り過ぎているくらいです。なので、今を大事にしながら楽しい人生を送っていきたいです。

## 施設の先生から

子持山学園  
主任指導員 長島 英之先生



「先輩」と「後輩」の文章を読んで、ものの見え方って、自分次第なんだなって改めて思いました。2人とも、つらい過去や解決しきれない悩みを抱えているはずなのに、強く、優しく、前を向いて一步一步進んでいます。子持山学園の職員、学校の先生や友達、地域の方やボランティアさんなど多くの方々の素晴らしい出会いが、子ども達の心を豊かに育み、夢に向かう努力の原動力になっていると思います。特に思春期にはさまざま選択や岐路が付きものです。子ども達の確かな一歩に我々職員はしっかりと寄り添いながら、その成長を見届けたいと思います。



### 施設データ

- 施設名称 子持山学園
- 施設長 豊田 誠
- 所在地 群馬県渋川市
- 経営母体 社会福祉法人 子持山福祉会
- 種別 児童養護施設

特集

# 未来へはばたく

社会の厳しさと喜びを実感し、多くの人に支えられているという感謝の気持ちを改めて感じたという、たくさんの子どもの近況が届いています。

# 子ども達



## 誰かを支えられる人間になりたい

■三重県 エスペランス四日市 出身 育英奨学支援

私はたくさんの人に支えられて生きていたんだ、ということを感じます。いただいた奨学金の助けを借りながら自力で生活を始めるようになり、高校生の頃以上に実感するようになりました。支え、というのは、生活自体に関する支えだけではなく、精神的な面でも、周りの人の温かい言葉、励ましが、夢に向かって頑張るための大きな活力になっています。お世話になっている方々に恩を返すため、そしてなにより、私自身の夢の実現のため、これからも勉強をして、資格を取得し、アルバイトで生活費と完全な自立に向けた貯金をしていきます。そして、社会人になったら、私を支えてくださった人たちのように、誰かを支えられる人間になりたいです。

## 大学校を去ることも考えました

■北海道 北光学園 出身 育英奨学支援

私は、海上保安大学校の学生として広島県呉市にて故郷の北海道を離れ生活しています。辛かった出来事は多々ありあまるほどですが、その最たるものは「水泳」でした。最終目標は海で約5.5kmを完泳することでしたが、当時の私はそれを不可能と考え、大学校を去ることも考えました。そのことを児童養護施設でお世話になった職員の方に告げると、わざわざ広島に来てくださり、私を説得してくださいました。当時私は続けることを拒みましたが、夏休みまで続けることにし、教官のもとに、基礎から水泳を教わりたいとお願いにきました。すると、今までの私が嘘のように泳げるようになりました。周囲から励ましの言葉をいただけ、泳げるようになるまで続けてよかったと感じました。

## 社会人としての自覚をもって

■東京都 東京都勝山学園 出身 自立支援

4月に入社してから5カ月が経ちました。最初は失敗ばかりで先輩方に迷惑をかけることが多かったのですが、今では一人で接客をし、いろいろなお客様とコミュニケーションもとれるようになりました。辛い事もありますが、今は自分の成長のためにも、先輩方と一緒に頑張りたいと思っています。寮では、2人の友達と一緒に仕事の話をしたり、くだらない話をしたり、一緒に遊びに行ったりと毎日楽しく生活しています。これからも、3人で精一杯頑張っていきたいと思っています。まだ慣れない仕事や生活がありますが、先輩方の話をしっかり聞いて一緒に頑張っていきたいと思っています。少しずつ社会人として自覚をもって仕事をしていきたいと思っています。

## 家族一丸となり努力していきます

■三重県 里親家庭 出身 自立支援

高校を卒業して、介護の仕事に就きました。はじめは慣れないことばかりでとても苦労しました。それでも一生懸命やっていくうちに、少しずつ自信が持てるようになりました。これからもこの仕事を頑張っていこうと思っています。今の生活は決して裕福なものではありません。それでも、就職し、さまざまな人と出会い、さまざまな経験をし、毎日楽しく過ごせています。今後も家族一丸となり、この生活を維持できるように努力していこうと思っています。

## 施設の先生から

現在は、自立援助ホームで生活していますが、早朝アルバイトをしてから登校し、学校でも遅くまで勉強してから帰宅する日々で、学業とアルバイトを両立し、本当によく頑張っていると思います。将来の夢や目標もしっかりしており、学校では友達ともよい関係が作れているようです。頑張りすぎて無理を疲れしてしまう本児ですが、学校の友達と助け合い、励まし合うことができているようで安心しています。

## 施設の先生から

入学当初よりホームシックにかかり、何度も電話やメール、広島県呉市まで足を運び、その都度考えを改めさせ現在に至っています。本人は水泳が大の苦手で何度も授業を欠席したり、周りに迷惑をかけたりと一時は退学するまで悩みましたが、たくさんの方々による相談や支援により、今では立派に海上保安大学生らしく生活を送っています。夏休みには当施設まで足を運び、学校生活等の話を楽しく会話をしました。

## 施設の先生から

入社してから遅刻、欠席はなく毎日通勤しています。ただ6月中旬に通勤途中に階段で転び手指を骨折し、しばらくお休みをする日もあったようです。しかし、6月にはじめに姉の結婚式に出席したり、夏には姉の所に帰ってきて、元気な様子が見られました。母の日には職員と在園児にお菓子や手紙を送ってくれる心遣いがありました。先日店の方へ行き、笑顔でお客様に対応している姿を見てうれしく思い、安心しました。

## 里親家族から

毎日休まず頑張って仕事へ行っています。将来は介護福祉士になりたいと、資格取得の勉強も頑張っています。私としては本人の希望を叶えてあげたいです。

## 成長している自分が分かります

■神奈川県 鎌倉児童ホーム 出身 自立支援

4月1日から3カ月間の試用期間を終えて、正社員になりました。朝早い時で5時出勤だったり、夜遅くに終わる時は22時を過ぎたりで毎日大変ですが、上司の方や先輩からほめられたり、注意もされたりしながら、少しずつ自分が成長しているのが分かります。私生活では、会社のすぐ隣に寮があり、お風呂も会社のお風呂に入るので、決してプライベートがないわけではないのですが、気を遣う毎日でもあります。月のお休みは8日間ですが、お家に帰ったり、遊びに行ったり、充実していると思います。ただ、体調を崩すことはないのですが、気を抜く時間や睡眠時間が少ないので、そこは少し疲れてしまいます。でもお客様とお話ができたり、接客はすごく楽しいので、毎日頑張って、まだ慣れないながらもお仕事をしています。

## 施設の先生から

朝早くから夜遅くまでの勤務で大変苦勞しているようだが、休日は自宅に行ったり、遊びに行ったりして上手に息抜きしているとのこと。同じ職場の人たちとコミュニケーションをとり、上手くやれているようです。8月には施設にも遊びに来てくれ、元気な顔をみせてくれました。

## 自分の夢に向かって一歩ずつ

■神奈川県 成光学園 出身 育英奨学支援

現在ではアルバイトにも慣れ、学校での勉強と塾講師の仕事で毎日が充実しています。しかし、心配なことがあるのも事実です。学費等も自分で支払わなければならないので、大学生活に対する不安はあります。奨学金を得たとはいえもそれだけでは生活できないので、アルバイトをしつつ、儉約生活を送っています。とはいえ、学業に支障を来すのは良くないので、学生の本業である勉強とアルバイトの両立を意識しています。また、さまざまな事柄について、自分だけで決断しなければならないうえに、相談できる人が少なくなったのも事実です。不安はありますが、相談しつつ自分で決断して自分の夢に向かって着実に一歩ずつ歩いていきたいと思っています。

## 施設の先生から

実母の知人宅で生活を開始。開始当初は自分を出して良いか迷いながらの生活をしてきた。一度気を遣い合い過ぎたためか、本児と知人でぶつかった。ぶつかったことで関係が深まり今は生活も落ち着いている。アルバイトをし、学校中心の生活をしているとの報告もくれているので、見守る形である。施設にいる弟と、将来について話をしている様子。しっかりと生活が継続するよう、支援していきたいと思っている。

# 紹介ひろば

エキスパート児童福祉支援協会は、毎年多くの子ども達を支援しています。その施設の先生方に施設内の様子や子ども達の様子をうかがいました。

## 児童養護施設

### アメニティホーム 広畑学園



施設データ	
●施設名称	広畑学園
●施設長	吉田隆三
●所在地	兵庫県姫路市
●経営母体	社会福祉法人 あいむ
●種別	児童養護施設

## 「集団生活の中で子ども同士が育ち合う環境づくり」

広畑学園は、1948年、初代園長が、3人の戦災孤児を里親として引き取り養育したことから始まりました。社会福祉法人名の「あいむ」とは「ASSEMBLY (集まり)」のA、「INFINITE (無限)」のI、「MUCH (多くの)」のMUを合わせ、「すべての人達が分け隔てなく集う場所には、無限の可能性が生まれる」という意味。山裾に広がる敷地内には、地域の人々が自由に出入りし、のどかに散歩する姿が見られます。現在の在園者数は、2歳から就学前、中高生、小学生を合わせて70名。家庭に近い小単位制を採用する施設が増える中で、広畑学園では同世代の子ども達が棟ごとに分かれて共同生活をする形態をとっています。「施設は家庭の代わりにはなり得ないというのが当園の考えです。親子の絆は決して切れない。切ってはいけないものなのです」と、主任指導員の山中

明世先生。いつか自分達の家庭を築くまで、集団の持つ力を信じ、子ども達同士が育ち合う環境をつくるというのが、学園の確固とした理念です。「毎年2月に、高校3年生を送り出すための激励会を開きます。今年は4名が旅立ちました。そのうち社会人になる一人が、エキスパート児童福祉支援協会の自立支援資金をいただきました。激励会では全員が集まり、ビデオ上映や合唱などで盛り上がるとのこと。「卒園が近付くと、皆落ち着いて大人びた顔になり、庭の花壇やペンキ塗りなど、後輩たちのために何かを残そうと、黙々と準備を始めるんです。同時期に新たな仕事や学びの場へ進む職員もいて、学園の厳かな区切りの日となっています。さまざまな別れを経験してきた子ども達ですが、園との別れは違う、未来に向けたスタートとなるのです」。

## 先生からのメッセージ

### 「過去の自分から本来の健やかな姿に変身する子ども達」



園長 吉田 隆三先生

児童養護施設の子供達は、決して「かわいそうな子」ではありません。子どもは子ども。ケンカもすればウソもつく。どの家庭にもいる普通の子なのです。ただ、園の子供達は、少なからず社会病理の被害者であることに違いありません。傷つき、我を見失い、苦しみもがいています。私たちは彼らに、過去にとらわれることなく、ここで「変身」して、本来の自分としてやり直すよう支援しています。今は、在園期間も5～6年と短くなってきていますが、その間に、子供達には、何も恐れることなく安心して「変身」を遂げてほしい。彼らのために、私達は敢えて壁になりたい。壁というと、行く手を阻むものというネガティブなイメージですが、壁がなければ投げ付けた球の強さも、声の大きさもわからない。大人への不信任や反発を全部、壁にぶつけ、跳ね返った球の強さを吟味し、選択し、学び取るのは子供達自身です。考えて考えて出した結論を自分のものにして、自信をもって未来に羽ばたいてほしい。壁とは支えであり、癒しでもあるのです。

## 特定非営利活動法人 エクスパート児童福祉支援協会 入会・寄付のご案内

エキスパート児童福祉支援協会は、会員の皆様の会費と寄付金を財源として、運営されています。当協会の趣旨と事業内容をご理解のうえ、一人でも多くの方にご入会いただけますようお願いいたします。

### ●入会金及び年会費と寄付金額

※年会費は、毎年4月1日より翌年3月31日までの1か年の会費です。

		入会金	年会費	
			期中入会の初年度年会費 (10月1日から翌年3月31日まで)	
正会員	法人・団体	20,000円	20,000円	10,000円
	個人	10,000円	10,000円	5,000円
賛助会員	法人・団体	なし	5,000円	2,500円
	個人		3,000円	1,500円
寄付		1,000円から承ります		

注) ①賛助会員は議決権を持ちません。

②当協会は、認定NPO法人ではありませんので、寄付金控除の税の優遇処置適用に該当しません。ご了承のうえ、ご賛同いただきますようお願い申し上げます。

### ●入会手続きと寄付のお申込み

入会・ご寄付に関するお問い合わせは、直接協会までご連絡ください。申込書をお送りいたしますので、ご記入後郵送、またはFAXで送っていただき、入会金・年会費・寄付金は下記の口座へお振込ください。振込手数料、郵送料金はご負担いただきますよう、お願い申し上げます。

### ●お振込先

三菱東京UFJ銀行 堀留支店 普通4518354  
とくていひえいりかつどうほうじん じどうふくししえんきょうかい  
「特定非営利活動法人 エクスパート児童福祉支援協会」

ゆうちょ銀行 〇一九店 当座0362052  
ぜろいちきゅう ほうじん じどうふくししえんきょうかい  
「NPO法人 エクスパート児童福祉支援協会」

### \* 支援者からの声 \*

栃木県 吉岡 尚子さん

今年、3月11日に始まった大きな悲しみは、まだ続いている。だが、そこに世界中から支援の手が、心が、届き続けている。私たちは、多くの人に支えられ、今を生きている。自分の意思で未来を選びたいと希望する子ども達。これからの人生、素晴らしいことがたくさんある。その途中で、転びそうになったり、立ち止まったり、横

道に迷う事もあるかもしれない。その時にいつも自分の道を見つける努力をし、自分らしく生きて欲しい。そして、大人になったら、普通の日常の中のひとつとして誰かを支えられる人になって欲しい。誰にもある未来への「つばさ」がより大きくはばたけるよう応援しています。

### 事業目的

児童養護施設・母子生活支援施設などの福祉施設や里親家庭で暮らす子ども達が自立を迎えるときに、将来の可能性のある子ども達の夢を実現できるよう支援の手を差し伸べることが事業の目的です。

### 事業内容

- 家庭環境に恵まれない子どもへの育英奨学資金の提供
- 家庭環境に恵まれない子どもへの自立支援資金の提供

上記の事業について、賛同してくださる方々と協力し、子ども達の未来を育む事業を進めていきたいと考えております。

### 役員

- 理事長 上田 伸夫
- 専務理事 三浦 直子
- 理事 酒井 正子、米林 慶子、石山 雅男
- 監事 伊藤 哲夫

お知らせ 12月1日より2011年度の育英奨学支援制度の申請受付を開始しています。

## 2011年度 育英奨学支援資金 応募要項

### 1. 支援対象

次の子ども達が対象となります。

- ① 児童養護施設入所の児童
- ② 母子生活支援施設入所の児童
- ③ 里親家族の児童

上記で、原則として18歳を迎え進学する予定の児童が対象です。その他の児童福祉施設入所の児童はご相談ください。

### 2. 支援内容と支援金額

進学者への支度金として

**一人15万円**(大学・短大・専門学校など)

支援資金の返済義務はありません。

### 3. 2011年度の支援予定者数

進学者50名

※就職予定者は協会事務局にお問い合わせください。

### 4. 選考方法

申請書類に基づき、当協会の選考委員会によって書類審査を行います。

### 5. 申請書類

詳細については、当協会事務局にお問い合わせください。

### 6. 申請受付期間と選考結果の通知

受付期間：2011年12月1日～2012年1月25日必着

結果通知：2012年2月末日結果通知(郵送)

### 7. 申込先

申請書類は当協会事務局へ提出してください。

※詳しくは当協会ホームページをご覧ください。

協会URL：<http://www.ex-child.or.jp>

### 申請受付から選考、支援完了までのプロセス

12月1日～

書類受付  
開始

- ・申請書
- ・推薦状
- ・本人の作文
- ・質問用紙
- ・調査書
- ・施設パンフレット
- ・志望校案内書
- ・児童委託証明書
- ・親権者の  
収入証明書

1月25日  
応募締め切り

2月末日

結果通知  
発送

- 送金に必要な  
書類の提出受付
- ・誓約書
- ・銀行口座届出書
- ・合格・内定通知

3月20日

送金受付  
締め切り

入金を確認した  
ら受領書を送っ  
てください。

4月末日

在学・在籍  
証明書提出

学校で出して  
もらったものを、  
送ってください。

8月1日

近況報告書  
提出依頼

こちらから、用紙  
を送りますので、  
ご記入のうえ、提  
出してください。

～10月末日

近況報告書  
締め切り

提出をもって支  
援完了とします。



特定非営利活動法人

**エキスパート児童福祉支援協会**

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町10-10 日本橋インテリジェントフラッツ402

電話：03-5642-6330 FAX：03-3249-7730 E-mail：info@ex-child.or.jp

<http://www.ex-child.or.jp>